

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2012年04月09日【第25号】

鶴見川流域センターの来館者が15万人を達成しました

鶴見川流域センターは、水害や震災などの災害時の防災活動拠点として整備され、平成 15 年 9 月の開館以来、鶴見川多目的遊水地を望む学習と流域活動の交流拠点として利用されてきました。利用者は鶴見川流域の学校や団体を中心に年々増加しており、平成 24 年 3 月 31 日に下記の写真の家族を迎え 15 万人を達成しました。

セレモニーでは、左側から『流域センター長（代理：副センター長）から認定証の授与』右側が『流域センター応援団団長から記念品の贈呈』がありました。



今年は桜の開花が遅れ4月7日・8日に各地で花見が行われていました

今年は、冬が寒く春先まで続きました。そのせいか、梅、桜などの春先に咲く花々の開花が遅くなっています。

昨年、鶴見川の沿川では、4月6日～10日の間が桜の花の見頃で、多くの場所で花見が行われていました。

今年は、7日になっても見た目には3～4分咲きといったところでしたが、それでも多くの方が花見に出かけられていました。



駒岡5丁目の堤防補強工事と河川敷道路工事は終了しました



補強された堤防

横浜市鶴見区駒岡5丁目地先では、2箇所にて堤防補強工事と河川敷道路工事をを行いました。

河川監視カメラの復旧工事は残っていますが、堤防補強工事と河川敷道路工事は3月30日に完成しました。

河川敷道路工事は、駒岡防災船着場に大型車両が入れるようにするためのもので、今回の工事で鷹野人道橋の下流側を回り込んで、一般道に接続しています。

沿川の皆さんや大曲広場を利用される皆さんには、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。



鷹野大橋をくぐる河川敷道路

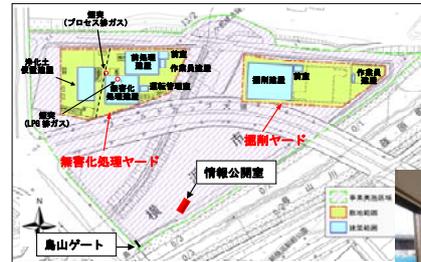


幅を広くした階段

PCBを含む異物混入土の無害化処理を情報公開室で

鶴見川多目的遊水地のうち鶴見川および鳥山川合流部付近には、ポリ塩化ビフェニル等の有害物質および異物が混在している土砂が、一時保管されています。「鶴見川多目的遊水地土壌無害化処理事業」で、PCB等の濃度が比較的高いものについて、「土壌無害化処理」を行っています。

その状況について、パネルやモニターを使い情報公開を行っています。



JR 横浜線新横浜
駅から徒歩 10分

平日 9時～
16時公開



あ と が き

4月から新しい年度を迎えました。

当出張所では、係長が1人異動となり、新しい体制で出発します。私も平成22年4月に赴任し、2年間があつという間に過ぎてしまい3年目に入りました。

鶴見川のことをより皆さんに知って頂こうと着任以来『新横浜だより』を発行し、情報発信を行ってきました。

電子データ(PDFにしたもの)を希望者に配信していますが、3月に入ってから数名の方から新聞をメールで送って欲しいと依頼され現在70名を超える方に送っています。

今年度も鶴見川の情報発信に努めますのでよろしくお願い致します。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターの平成23年度の来館者数は3.2万人に

3月の来館者数は、2,529名となり、今年度の累計は、32,018名になりました。

開所から83ヶ月の平成22年7月に10万人の来館者を迎え、それからわずか20ヶ月で5万人を迎えたこととなります。

流域センターには、防災情報を求める市民のみなさんが大勢おとずれるようになり、新横浜だよりの中ではXバンドレーダと津波の記事の号外が良く読まれているようです。

震災及び復旧対策に関する資料や、防災グッズの紹介など、いざというときに必要になる情報をスタッフがわかりやすく説明してくれることから、小さな子供づれの方も増えています。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)